



日本共産党文京区議会議員  
**まんだち幹夫** 通信 **週刊**  
 2011年10月21日号 No.214

**'みなさんをいつもまんやかに、'**

区議団控室：5803-1317（直通）  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

定例区議会が終了。次回は来月21日から。

**一年間で74億円も基金積立て。総額596億円にもなった基金で、福祉・子育て施策充実を**

17日、第3回定例議会が終了しました。

この日の本会議は、7日間にわたって審議された、2010年度決算の認定でした。区議団は、一会計決算、国保会計、介護保険会計、後期高齢者会計に「認定せず」の態度をとりました。「市民の広場」会派も同様。

昨年度の当初予算（一般会計）では収入を約625億円と見込んだものの、決算では110億円増えて、739億円に。その結果、基金（区の貯金）はこの年だけで74億円積み増して、総額596億円に膨れ上がりました。これは、バブル期の650億円に次ぎ史上二番目の基金額です！

来年は、新たな「行財政改革」や、5億円にも及ぶ事業の削減が。



**消防署・団、地域が連携で消防合同点検**

雨が通り過ぎた16日午前、教育の森公園で「消防合同点検」が行われました。

毎年のことながら、消防団や町会組織などの連携プレーに感心します。災害者の救助や火災の消火活動（下写真はいっせいに放水しての消火活動）のムダがありません。いざ災害時に、どうしたら日頃の訓練の結果がだせるのか 的確な情報の集中や住民への日常の周知が大事なのでしょう。



いま大事なものは、区民の経済的支援や、福祉や子育ての施設建設などです。



それなのに区は、特別区民税が前年より20億円も減収になったことから、「財政難」をしきりに強調します。しかしこれも実は、「ミニバブル期」と言われた07年区民税収入に迫る額で、この十年の期間でみれば区財政は「好調」です。来年度、新たな「行財政改革」を区は計画しています。施設の利用料や育成室、幼稚園の保育料までも値上げの対象として…。

**まんだち日誌**

13日 決算委員会の審議としては最終日。私は「来年度予算要望書」づくりに没頭。

14日 午前、強い雨の中で「下町まつり」参加のため根津神社へ。あいにくの天候でしたが、出店も賑わっています。雨の中の小学生の鼓笛隊が、すこし気の毒でした。お疲れ様です。

その後、水道保育園の運動会。会場の金富小学校体育館は熱気に包まれていました。

16日 午前、消防合同点検。午後、相談。早めに帰宅して、久しぶりに家族で夕食。

18日 議会広報小委員会に出席。「区議会だより」の文章や写真を決めます。来月10日、発行です。